

第七十一回帝國議會
衆議院

產金法案外六件委員會會議錄(速記)第五回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
酒造組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和十二年八月五日(木曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 武田德三郎君

理事原 玉重君 理事堀内 良平君

勝 正憲君

山田 順策君

字賀 四郎君

小笠原三九郎君

松山常次郎君

田川大吉郎君

田中源三郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 中村三之丞君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

シ

大藏事務官 濱田 徳海君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酒造組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○武田委員長 是ヨリ開會致シマス、酒造組合法中改正法律案ヲ議題ニ供シマス、質

疑ヲ許シマス——石井君

○石井委員 當局ノ御説明ハナイノデゴザイマスカ

○武田委員長 説明ハ一昨日済ミマシタ

○石井委員 サウデスカ——本件ニ付キマシテ二、三質問ヲ試ミタイト考ヘルノデアリマス、本件ハ七十議會デ既ニ貴族院ヲ通過致シテ居リマシタシ、本衆議院ニ於キマシテモ、委員會ノ質疑ハ大體終了致シテ居リタノデアリマス、又當時ノ當局者モ首腦者ニ於キマシテハ、當時ノ次官ガ大臣ニナラレ、當時ノ主税局長サンガ次官ニナラレテ居ル、斯ウシタ關係上大體ニ於キマシテ御方針ニ於テ御遺漏ハナイモノト考ヘマスガ、併ナガラ政府モ迭リマシタコトデアリマスルガ故ニ、此機會ニ於キマシテ極メテ簡略ニ質問ヲ試ミタイト考ヘルノデアリマス

先日本會議ニ於キマシテ服部岩吉君ガ此法案ニ對シマシテ質問ヲ致シタノデゴザイマス、ソレニ對シマスル大藏當局ノ御答辯ヲ中心ト致シマシテ私質問ヲ試ミタイト考ヘルノデアリマス、服部君ノ質問ノ要旨ハ本案其モノニ付キマシテハ、是ハ業界多年ノ希望デアリマシテ、別段異議モナイヤウデアッタノデアリマス、隨テ質問ノ要旨ハ庫出稅ヲドウスルカ、ソレカラ更ニ小賣業者ノ免許制度ヲドウスルカ、斯ウシタ問題デアッタノデアリマス、私過グル議會ニ於キマシテ質問ヲ申上ゲマシタノモ、大體ニ於キマシテソレ等ノ點ヲ中心ニシテ質問ヲ致シタノデアリマス、先日太田政務次官ノ御答辯モ、昨七十議會ニ於キマスル當時ノ主税局長ノ御答辯モ、大體ニ於テ一致致シテ居ルノデアリマス、庫出稅其モノハ本質的ニハ賛成デアアル、併ナガラソレヲ俄ニ行フト云フコトニナレバ、小資本ノ酒造家ガ非常ニ困ルノデアアル、更ニ又國庫ノ收入ニ於テ異變ヲ生ズル、斯ウシタコトガ是ガ實行困難ダ、斯様ニ御答辯ガアッタヤウデアリマス、更ニ又小賣業者ノ免許制度ノ問題ニ付キマシテハ、是モ極メテ必要ダトハ考ヘルケレドモ、現在二三十万ニ互ル所ノ小賣業者ノ信用狀態一々調査シテ、之ニ免許ヲ與ヘルト云フコトモ極メテ困難ナヤウニ思フ、併ナガラ是モ考ヘル、斯ウシタヤウナ御答辯デアッタヤウニ私拜聽致シタノデ

アリマス、ソコデ質問ヲ致シタイノハ、庫出課稅ニ付テハ大體ニ於テ賛成デアアル、併ナガラ先程申上ゲマシタヤウナ理由ノ下ニ實行ガ困難ノヤウニ思フ、斯ウ云フ御答辯デアッタと思ヒマス、詰リサウシタ氣持ヲ以テ、サウシタ氣持ヘテ將來庫出稅ヲ實行セラレントスルカドウカ、此問題デアリマス、即チ七十議會ニ提案ニナリマシタ所ノ稅制ハ、臨時租稅ノ増徴法デアッタノデアリマス、隨テ次ノ議會ニ於キマシテハ、總テノ稅制ノ整理ト共ニ根本的ニ御考ニナルコトト考ヘマスルガ、ソレ等ノ際ニ於テ此庫出課稅ト云フモノヲ御考ニナルカドウカ、此問題デアリマス、庫出課稅ガ酒造稅ノ消費稅デアルト云フ立前カラシテ極メテ合理的デアルト云フコトハ、議論ノ餘地ハナイト考ヘルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ大藏當局モ御贊成デアアルノデアリマス、唯先程申上ゲマシタヤウニ、一種ノ便宜主義カラ躊躇セラレテ居ル、斯ウシタコトノヤウデアリマスガ、成程小資本ノ人、是等ノ人達ガ遽ニ庫出課稅ヲ實行スルト云フコトニナッタ場合ニハ、御困リニナルト云フ

コトハアリマセウト考ヘマスルシ、又全國ノ酒造家ノ中ニハ、或ハ之ニ不賛成ノ方モオアリニナルデアラウト考ヘマスガ、併ナガラ總テノ問題ヲ改革致ス、斯ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、相當ノ決心ト又或ル程度ノ犠牲ガ生ズルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得スト考ヘルノデアリマス、隨テ本質的ニサウスベキモノデアアル、斯様ニ御考ニナリマシタナラバ、是ハヤハリ御實行ニナルノガ本當デヤナイカト考ヘルノデアリマス、隨テ私が先程申上ゲタヤウニ質問ノ要點ト致シマシテハ、ソレニ對スル用意、心構ヘ、斯ウ云フヤウナコトガドノ程度ニオアリニナルカ、斯ウ云フコトヲ先ヅ御質問申上ゲタイト考ヘマス

○中村府委員 庫出税ノ問題ニ付キマシテハ七十議會以來答辯致シマシタルコトニ付キマシテハ、其後大藏當局ニ人的變化ガゴザイマシテモ、一般方針ハ變ラナイノデアリマス、庫出税ハ課税ノ一ツノ方策デアルト存ジテ居リマス、唯之ヲ實現ニ移行スル場合ニ於キマシテハ、先日政務次官ガ本會議ニ於テ答辯セラレマシタヤウナ事柄ガアルノデアリマス、就キマシテハ御承知ノ如ク税制調査會ガ既ニ各方面ノ方々ニ依ッテ委員ガ構成サレテ居ルノデゴザイマスカ

ラ、是等ニ付キマシテハ、此委員會ニ附議セラレテ今後考究ヲ重ネラレルコトデアラウト存ジテ居ル次第デアリマス

○石井委員 只今參與官ノ御答辯ヲ拜聽致シマシタガ、私言葉尻ヲ取ルトカ云フヤウナ意味デハ決シテナイノデゴザイマスケレドモ、只今庫出税モ一種ノ課税ノ方法ダ、或ハ手段ダト云フヤウニ御話ニナリマシタ、是ハ私消費税デアアル、間接税デアアル、斯ウシタ立前カラ申シマシタナラバ、庫出課税ノ方ガ本質的デアアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、現在ノ四期分納制度ハ唯課税ノ便宜ノ爲ニヤラレテ居ルモノデアアル、斯様ニ考ヘテ居ル者デアリマス、是ハ決シテ私言葉尻ヲ取りマシテドウ斯ウ申上ゲル譯デハナイノデアリマス、現在御承知ノコトト考ヘマスルガ、庫出課税デナイ、所謂四期分納ト云フ制度ヲ採ッテ居ラレマスルガ爲ニ、如何ニ業界ガ擾亂ヲサレテ居ルカ、正當ナル業者ガ迷惑ヲ致シテ居ルカ、斯ウ云フコトハ御承知ニナッテ居ルト考ヘルノデアリマス、四期分納ト云フヤウナコトニナッテ居リマスルガ故ニ、税金ニ對シテ前納シタ、或ハ後納シタ、斯ウ云フヤウナ者ガ出來テ參ルノデアリマス、前納者ト申上ゲマ

スルノハ、管々シク御説明セスデモ御分リニナッテ居ルト考ヘマスルケレドモ、マダ酒ガ庫ノ中ニアッテ、消費サレテナイニモ拘ラズ、酒造家ガ消費者ニ代ッテ税金ヲ納メテシマフ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノヲ、先ヅ前納者ト申上ゲルノデアリマス、御承知ノ通りニ酒造年度ハ十月ニ始ッテ九月末日ヲ以テ終ルノデアリマス、前年度ノ酒造税ト云フモノハ三月末日ヲ以テ總テ完納シテシマハネバナラス、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、即チ七月、十月、十二月、三月、斯ウ云フ風ニ四期ニ分納致シマシテ、三月末ニハ相當倉内ニ現在酒ガアリマシテモ、兎モ角モ納メナケレバナラス、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、即チ消費者ニ代ッテ酒造家ガ國家ニ税金ヲ納メテ居

ル、是ガ前納者デアリマス、後納者ト申シマスノハ、早ク酒ヲ賣ッテシマフ、サウシテ税金ヲ其目的ノ方面ニ利用致シテ居ル、斯ウ云フノガ所謂後納者デアアル、即チ小資本ノ人ガ多量ノ、自分ノ資本ニ似合ハナイ所ノ酒ヲ拵ヘテ、サウシテ早ク賣ッテシマフ、而シテ一升ニ對シテ今日デアリマスルナラバ四十五錢、從來デアリマスルナラバ四十錢ノ税金ニ當ルモノヲ取ッテ、詰リ消費者ノ手ニ早ク渡シテシマフ、納税期ガマダ來ナイ内ニ酒ダケハ無クナッテシマッテ居ル、

斯ウ云フヤウナノガ後納者デアリマス、詰リ後納者ハ濫賣ヲスル人達ニアルノデアリマス、其後納者ノ受ケル不當ノ利得、ソレカラ前納者ガ受ケテ居リマスル所ノ迷惑、之ヲ考ヘテ見マスルト、非常ニ其間ニ障リガ出來テ來ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ弊害ガ今ノ四期分納ノ間ニ出來テ居ルノデアリマス、今回御提出ニナッテ居リマスル酒造組合法ニ統制事項ヲ御加入ニナリマシタガ、若シ庫出制度ト云フヤウナモノガ本當ニ出來テ參リマスルト、今度御提出ニナッテ居リマスル統制事項ト云フヤウナモノハ、假ニナクテモ相當ニ效力ヲ發生スルノデアリマス、詰リ前年度ノ税金ヲ納ムルガ爲ニ、其後年度ニ造リマシタ酒ヲ直チニ賣ッテシマッテ、ソレニ依ッテ税金ヲ納メテ行ク、斯ウシタヤウナコトヲスルガ爲ニ、濫賣濫造ガ出來テ來ルノデアリマス、隨テ此濫賣濫造ヲ防グガ爲ニハ、組合法ニ依ル統制ノ力モ必要デアリマスルガ、更ニ課税ノ方法ト云フモノモ極メテ必要デアアルノデアリマス、而シテ先程申上ゲマシタヤウニ、消費

税、斯ウ云フヤウナ立場カラ申上ゲテ見マシタナラバ、前納モ後納モ孰レモ不合理デアリマス、是ハ是非サウシタ方針ノ下ニ、大藏省ト致シマシテハサウシタ委員會ガ假

ニ出來テ、其委員會ニ御臨ミニナルナラバ此方法ヲ以テ私御臨ミニナッテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、隨テ先程申上ゲルヤウナ小資本者、現在永イ間ノ慣例ニ依ッテサウシタコトヲヤッテ居ル人達カラ、或ハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、今迄喰込ンデ居ル所ノ、使込ンデ居ル所ノ税金ヲ一時ニ徵收シテシマフト云フ風ニナリマスルト、非常ナ迷惑ヲサレル人ガ出ルカモ知レマセヌケレドモ、ソレ等ニ對シマシテハ自ラ又救済ノ方法ガアリハセヌカ、或ハ庫出課稅ヲ實行スル期間ヲ相當ニ後ラセル、斯ウ云フヤウナコトニナリマシタナラバ、救済モ出來ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、或ハ國庫ノ收入ニ於テ三四千萬圓ノ一時異變ヲ生ズルト云フヤウナコトモ、是モ唯過渡期ノ一年ダケノ問題デアリマスルカラ、何トカ私ハ出來ハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、先程參與官ノ庫出課稅ト云フモノハ一種ノ手段ダト仰セニナッテコトヲ私捉ヘテ申上ゲタヤウデアリマスルケレドモ、是ハ私何度モ申上ゲルヤウニ、決シテ言葉尻ヲ取ッテ譯デハナイノデアリマシテ、今一應ノ御考ヲ戴キタイト思フノデアリマス

○中村政府委員 一方策ト申上ゲマシタコ

トハ、七十議會以來變ラザル御答デアルト私ハ存ジマス、又石井サンノ前納、後納ノ御意見ニ付キマシテハ、私モ七十回議會ノ速記録ニ於テ十分拜承致シテ居リマス、只今申上ゲマシタ如ク、實際ニ之ヲ適用スル場合ニハ、石渡次官ガ七十議會ニ申シマシタヤウナコトモゴザイマス、是等モ財政上多少後年ニ影響ヲ與ヘルモノデアルト云フ見地カラ答辯シタモノデアルト存ジテ居リマス、隨テ是等ヲ實行ニ移ス場合ノ摩擦ト云フコトモドウシテモ考ヘテ行カナケレバナラスノデコザイマシテ、ソレガ爲ニ中央地方ヲ通ズル稅制改革ヲ意圖スル稅制調查會ガ既ニ設ケラレ、此議會ガ終リマス同時ニ、本格的ナ調査ヲ進メラレルト云フ事態ニナッテ居ルノデアリマスカラ、其際此庫出稅ノ問題ニ付キマシテモ檢討調査スル、斯様ナ考デ當局ハ居リマス云フコトヲ茲ニ重ネテ申上ゲマス

○石井委員 庫出課稅ノ問題ニ付キマシテハ、若シサウシタ工合ニ委員會ニ於テ考慮研究スル、斯ウ云フヤウナコトニ御考ニナッテ居リマスルナラバ、是非サウ云フ風ニ實現ノ出來マシヤウニ希望致シマシテ、此點ニ付キマシテハ質問ヲ終リタイト考ヘマ

次ニ此事業ノ免許制度ノコトデアリマスガ、此點ニ關シマス過日ノ太田政務次官ノ御答辯ハ、前議會ニ石渡現次官ノ御答辯ヨリ稍進ンダ御意見デアッタカノヤウニ私拜聽致シタノデアリマス、或ハ私ノ聽キヤウガ惡カッタノカモ知リマセヌシ、販賣人ノ免許制度ト云フコトハ、是モ今日ニ於キマシテハ酒造業者ノミデハナイノデアリマシテ、販賣人其者モヤハリサウシタ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是ハ決シテ酒造家ノミガ要望致シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、販賣人組合、サウシタモノモ現在免許制度ニヤッテ吳レト云フヤウナ希望ヲ皆持ッテ居ルノデアリマス、是ハヤハリ今度ノ統制事項、斯ウ云フヤウナモノヲ御制定ニナリマシタ氣持カラ申シテ見マシテモ、製造デアリマストカ、或ハ價格ノ協定デアリマストカ、斯ウシタモノト一體トナッテ考ヘテ行クベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、現在ノ酒造業ハ、酒造業者ガ負擔ヲ致シテ居リマスル納稅ノ義務デアリマストカ、或ハ國庫ノ收入、斯ウシタ方面カラ考ヘテ見マスルト、殆ド官業ニ近イ所ノ成績ヲ舉ゲテ居ルコトト考ヘルノデアリマス、殆ド酒ノ專賣ニ近イダケノ利益ヲ國家ハ舉ゲテ居ル譯デアリマス、サウシタ意味カラ考ヘテ見マシテモ、酒造業者ニ對スル所ノ免許制度、酒造業者ニ對スル所ノ擔保ノ提供、サウシタヤウナ氣持カラ考ヘテ見マシテモ此酒造業者ヲ守ッテヤル、斯ウ云フヤウナ意味カラ考ヘテ見マシテモ販賣人ノ免許制度ト云フコトハ極メテ緊要ダト考ヘルノデアリマス、東京市中ノ酒販賣人ト云フモノハ凡ソ一万人アルト云フコトデアリマスガ、是ガ殆ド毎年三割位ハ新陳代謝ヲ致シテ居ルノデアリマス、三千人位ハ廢メタリ、或ハ又始メタリ、斯ウ云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク是ハ全國的ニ見マシテモ相當ノ新陳代謝ガ行ハレテ居ルト考ヘルノデアリマス、新陳代謝ガ行ハレ際ニハ、決シテ成功ヲシテ代謝スル人ハナイノデアリマス、必ズ幾ラカノ迷惑ナリ、或ハ飛バッチリナリヲ製造家ニ掛ケテ居ルト云フコトニナッテ居ル譯デアリマス、先程申上ゲマスヤウニ殆ド官業ニ近イ所ノ效果ヲ舉ゲテ居リマスル酒造業ヲ守ル、酒造業者ヲ擁護シテヤル、斯ウ云フ意味カラ考ヘテ見マシテモ、此販賣人免許制度ト云フコトハ當然考ヘテ戴イテ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、之ニ對シマシテハ先程モ申上ゲマスルヤウニ、太田政務次官ノ御答辯ハ、一歩進ンダカノ如ク

私拜聴シタノデアリマス、如何デアリマス
カ、御質問申上ゲル次第デアリマス

○濱田大藏事務官 御答申上ゲマス、酒類
ノ小賣業ヲ免許制度ニ致シマスコトニ付キ
マシテハ、只今石井サンカラ御話ゴザイマ
シタヤウニ、業界多年ノ要望デゴザイマシ
テ、又酒造業者ト致シマシテモ之ヲ要望致
シテ居リマス、仰セゴザイマシタヤウニ、
酒類ノ販賣ノ小賣業者ハ比較的小資本ヲ以
テ之ヲ開業シ得ル、或ハ開業ガ他ノ營業ニ
比シマシテ非常ニ簡單デアルト云フヤウナ
コトニ依リマシテ、業者ノ濫立ヲ見マシテ
オ五ニ競争致シマシテ、ソコニ倒産者モ出
スト云フヤウナコトニモナリマス、之ニ對
シマシテ販賣業ノ免許制度ヲ採用致シマシ
テ、其業者ノ素質ヲ向上致シマスコトハ、
理論的ニ見マシテ妥當ナ方法デアラウト考
ヘテ居リマス、併ナガラ只今仰セゴザイマ
シタヤウニ、酒類販賣小賣業者ノ數ハ非常
ナ夥シイ數ニ達シマシテ、全國ニ就テ之ヲ
見マス、既ニ二十四萬餘人ヲ算シテ居リ
マス、是等ノ販賣業者ノ素質ナリ、信用ナ
リ、或ハ業態ノ内容ニ立入リマシテ、詳細
ニ監督指導致シマスコトハ、現在ノ組織ヲ
以テ致シマシテハ、假令之ニ販賣免許制度
ヲ採用致シマシテモ、尙ホ不十分ノ所ガア

ルノデハナカラウカ、業界多年ノ要望ニ對
ヘルト云フコトガ、直グニ效果のニ出ルデ
アラウカト云フコトヲ唯懸念致シテ居ル次
第デアリマス、併ナガラ之ニ販賣免許制度
ヲ採用致シマスレバ、幾分デモ業界ノ要望
ニ對ヘ、又效果ヲ多少デモ發揮致シ得マス
ナラバ、來ルベキ税制改正ノ際ニ、此問題
ニ付キマシテハ篤ト調査考究ヲ致シテ見タ
イ、斯ウ云フ氣持デゴザイマス

○石井委員 モウ此點ニ付キマシテハ此程

度ニ致シテ置キタイト考ヘルノデアリマ
ス、尙ホ幾多質問ヲ致シタイト考ヘルノデ
アリマスケレドモ、大體ニ於テ私七十議會
ニ於キマシテ殆ド質問ヲ盡シテ居ル積リ
デアリマス、當時濱田事務官モ此席ニ居ラ
レタノデアリマスカラ、大體省略致シテ置
キタイト思ヒマスルガ、唯其際ニ私ヤハリ
質問ノ一部トシテ申上ゲマシタコトデアリ
マスガ、特ニ酒造業ニ於テ極メテ必要ダト
考ヘテ居リマスルガ故ニ、今一應申上ゲテ
御意見ヲ拜聴致シテ置キタイト考ヘマスノ
ハ、酒造業ト酒造検査ノ問題デアリマス、
是ハ昨年私申上ゲタノデアリマシテ、濱田
事務官ニハ御迷惑ト考ヘルノデアリマスケ
レドモ、是ハ極メテ酒造業者ニ取リマシテ
ハ密接ナ關係ガアルノデアリマス、本省ナ

リ、或ハ首腦部ノ方々ニ於キマシテハ、サ
ウシタ氣持ハ恐ラクナイト私ハ考ヘルノデ
アリマスケレドモ、實際ニ検査ニ携ッテ居ラ
レル税務署ノ方々、或ハ地方ノ税務署ノ署
長、斯ウシタ方面ノ人達ハ是ハ、法文ヲ左
様ニ見テ居リマスガ爲ニ、已ムヲ得ヌコト
デハアリマセウケレドモ、検査ノ上ニ非常
ナル、何ト申シマスカ手ト申上ゲマスル
カ、サウシタモノヲサレルノニ、非常ニ躊
躇サレルヤウニ考ヘルノデアリマス、御承
知ノ通りニ酒ト云フモノハ出來マスル間ニ
ハ殆ド一箇月間ノ日子ヲ要スルノデアリマ
ス、其間ニハ氣候ノ變化ガアリマスツカ、
斯ウ云フヤウナコトカラ、非常ニ品質ノ上
ニ影響ヲ及シテ來ル、斯ウ云フコトモ恐ラ
ク諒承ノ上ダト考ヘルノデアリマス、他ノ
燒酎、麥酒ノ製造ト云フヤウニ、非常ニ科
學的ニ、機械的ニ出來ルモノデアレバ、是
ハ品質ノ統一ト云フヤウナコトモ出來マス
ルケレドモ、日本酒ノ製造ト云フモノハ、
獨特ノモノデアリマス、隨テ殆ド自然ノ溫
度ノ下ニ酒ヲ造ッテ行クト云フヤウナ狀態
ニアリマスガ故ニ、一箇月ノ間ニハ自然ノ
變化ト云フモノガ行ハレテ來ルノデアリマ
ス、隨テソレニ對應スル所ノ處置ヲ講ジナ
ケレバナラス、斯ウ云フヤウナコトモ出テ

參ルノデアリマス、例ヘバドウモ甘口ノヤ
ウナ酒ガ出來テ困ルカラ、之ヲ辛クシナ
ケレバナライ、或ハ辛イ酒デアアルガ故
ニ甘クシナケレバナライ、斯ウ云フヤウ
ナコトニ依ッテ品質ノ統一ヲシナケレバ
ライノデアリマスケレドモ、是ハ検査上
ノ手續ノ上ニ於テ中々自由勝手ニ出來ヌノ
デアリマス、詰リ製造法ト云フモノヲ豫テ
届ケテ置イテ、其届ニ依ッテ製造ニ著手シタ
限リニ於テハ、製造ノ過程ノ途中ニ於テ、
之ヲ變更スルト云フヤウナコトハ御認メニ
ナラスノデアリマス、詰リ私共カラ申シテ
見ルナラバ、地方ノ税務署ガ見ラレル所ノ
所謂税法、或ハ検査ノ規則、斯ウ云フヤウ
ナモノガ見マスル酒ト云フモノハ、商品ト
云フヤウナ意味デハナクシテ、唯一種ノ課
税ノ客體ダ、斯様ニ御考ニナッテ居ルカノ如
クシカ考ヘラレスノデアリマス、是等ニ付
キマシテハ、私將來ニ於キマシテ是非共何
トカ改正ヲシテ戴イデ、サウシテ酒ノ製造
ノ過程中デアッテモ、已ムヲ得ヌ場合ニ於テ
ハ仕込ノ方法ノ變更ヲ許ス、斯ウ云フヤウ
ナコトニシテ戴クコトガ極メテ必要デア
ルト考ヘルノデアリマス、是ハ組合法トハ關
係ノナイコトデアリマスケレドモ、前回私
申上ゲタコトデアリマスガ、更ニ此機會ニ

今一應御意見ヲ拜聴致シテ置キタイト考ヘ
ルノデアリマス

○濱田大藏事務官 御答申上ゲマス、租税

ノ實務ニ從事致シテ居リマス者ト致シマシ
テハ、常ニ納税者ノ氣持ヲ尊重致シマシテ、
租税ヲ通ジマシテ納税者ノ方ガ國家ニ奉公
ノ誠ヲ遺憾ナク達セラレマスヤウニ、支障
ナク稅務行政ガ運用致サレマスコトヲ常々
念願致シテ居ル次第デアリマス、單ニ租税
ヲ徵收スル、所謂「タックス・コレクター」ト
云フヤウナ氣持デハナク、前ノ結城大臣ガ
仰シヤッデ居リマシタガ「パブリック・サーヴァ
ント」ト云フヤウナ氣持デ納税者ト國家
トノ間ニ居リマシテ、之ヲ御手傳ヒスルト
云フヤウナ氣持、是ガ私共ノ稅務行政ノ實
際ニ携ッデ居リマス者ノ氣持デゴザイマス、
隨テ只今仰セアリマシタヤウナ事柄ニ對シ
マシテモ、其氣持ヲ以テ遂行致シタイモノ
デアル、斯ウ考ヘテ居リマス、併ナガラ仰
セゴザイマシタヤウニ酒造稅ハ間接消費稅
デゴザイマシテ、是ガ課稅物件ヲ的確ニ查
定シ、的確ニ量定スルト云フコトガ、課稅
ノ公平ヲ期シマス上ニ於キマシテ第一ノ要
諦ヲ成シマス爲ニ、此點ヲ嚴重ニ致ス、斯
ウ云フコトモ亦已ムヲ得ナイノデハナイ
カ、併ナガラ先程申シマシタヤウナ氣持ヲ

加味致シマシテ、法律ノ許ス範圍ニ於キマ
シテハ、納税者ノ方々ノ御便宜ヲ圖ルコト
ニ咨カデナイ譯デアリマス

○石井委員

只今ノ御意見ヲ拜聴致シマシ
テ極メテ愉快ニ考ヘルノデアリマス、是非
共唯單ニ酒ト云フモノハ、租税ノ客體ナリ
ト云フヤウナ氣持ヲ御排シニナッデ戴イテ、
ヤハリ一種ノ商品ヲ製造シテ居ルモノデア
ル、同時ニ租税ヲ納メテ居ルモノデア
ル、斯ウ云フ氣持ヲ以テ臨ンデ戴キマスヤウ
ニ、更ニ先程申シマシタヤウナ實際上ノ問
題、サウシタモノニ付キマシテハ、若シ檢
査ノ規則デアリマスとか、或ハサウシタモ
ノヲ改正スル必要ガアリト御考ニナリマシ
タナラバ、是非一ツ研究シテ戴キタイト考
ヘルノデアリマス、私之ヲ以テ質問ヲ終リ
タイト考ヘマス

○武田委員長

別ニ御質疑ハアリマセヌカ
私此機會ニ……

○田中委員

成ベク簡潔ニ御願致シマス

○田中委員

實ハ私ハ今日早クカラ此酒造
組合法ニ付テ質疑ヲ致シタイと思ッテ參ッ
タノデアリマスガ、ドナタモマダ居ラレマセ
ヌカラ、他ノ委員會ニ行ッテ居ッタノデスガ、
大體石井サンカラ御質疑ヲ願ッタヤウニ思
フノデアリマスガ、私ハ先ヅ第一ニ承リタ

イノハ昭和十一年度ノ酒造、詰リハ古酒
デアリマス、モウ是ハ十一酒造年度デスカ
ラ、スッカリ庫出モ濟ンデ居ルト思ヒマス
ガ、ソレガ納税ノ分納期ニ於ケル庫出ノ步
合ヲ一ツ此處デ説明シテ戴キタイ、假ニ第
一期納稅ガ七月デアリマスルナラバ、四月
ニ火入ヲ終リマシタモノカラ、七月マデノ
庫出ノ狀態ガドウ云フ步合ニナッデ居ルカ、
ソレカラ第二期納稅期ニ對スル所ノ庫出步
合ガドウナッデ居ルカ、ソレヲ一ツ承リタ
イ、是ハ御答ヲ得マシテカラ、ソレニ對ス
ル質疑ヲ繼續致シマス、ソレカラ今日政府
ノ方ニ於キマシテハ、滓引減少步合ト云フ
モノヲ増加サレル所ノ御意思ガアルカドウ
カト云フコトヲ承リタイ、大體此委員諸君
ノ中ニモ酒造業ヤッデ居ラレル方ガ澤山
アリマセウガ、私ガ考ヘテ見マスルト、酒
造業者ニハ國家ガ總テノ助成指導ヲ致シテ
居ルト云フコトガ一番少イ、他ノ農產物ノ
加工業ト比較致シマシテ、是程政府ガ從來
カラ助成ラシテ居ルコトノ少イモノハナイ
ノデアリマス、是ハ比較的多ク固定資本ヲ
要スル所ノ業務デアリマスルガ故ニ、此業
者ハ財力ニ於テ力強イト云フ點ヲ見テ、政
府ノ方デハ助成ガ少ナカッタ、滓引減少步合
等ノ如キモ、先年一回此步合率ヲ引上ゲラ

レタノデアリマスガ、近來ノ酒造方法ノ技
術上ノ點カラ考ヘテ見マスルナラバ、私ハ
今少シク此滓引減少步合ヲ引上ゲルコトガ
非常ニ必要ナ問題デアルト思フノデアリマ
ス、政府ハ滓引減少步合ヲ引上ゲルト云フ
コトニナリマスルナラバ、造石高ニ對スル
所ノ課稅石高ガ違ッテ來ルト云フコトデ、恐
ラク此事ハ成ベク避ケタイト云フ御考ヲ
持ッデ居ラレルカモ知レマセヌガ、實際今日
政府ガ見テ居ラレマス、此程度デ宜カラウ
ト仰シヤル造石步合率ハ、酒造家ニ取ッテハ
マダ缺損ノ行ッデ居ル狀態ナノデアリマス、
私ハ此滓引減少步合ノ引上ノ御意思ヲ持ッ
テ居ラレルカ一ツ此際ニ承ッテ置キタイト
思フノデアリマス

○中村政府委員 説明員カラ御説明申上ゲ
ルコトニ致シマス

○濱田大藏事務官 御答申上ゲマス、新酒
ノ庫出步合ニ付キマシテハ、今御尋ガアリ
マシタ昭和十一年酒造年度ノモノハマダ調
査ガ完結シテ居リマセヌノデ、昭和十酒造
年度ニ付キマシテ御答申上ゲマス、步合ハ
マダ算出致シマセヌケレドモ、十月ニ出シ
マシタモノガ一千二百石、十一月ガ八千石、
十二月ガ三万八千石、一月ガ七万五千石、
二月ガ十萬四千石、三月ガ十七萬四千石、

四月ガ二十三万六千石、五月ガ二十二万五千石、六月ガ二十万二千石、七月ガ二十万三千石、八月ガ二十二万五千石、九月ガ二十九万二千石、斯ウナッテ居リマス、ソレカラ其次ノ滓引減量ニ關シマシテ歩合ヲ引上ゲル意思ハナイカト云フ御尋ニ對シマシテハ、御承知ノヤウニ、滓引減量ガ改正致サレマシタノハ、大正十一年ノ三月二十八日ノ法律第十六號ヲ以テ改正サレタ譯デアリマス、之ニ付キマシテハ、其當時ハ我國ノ酒類醸造業ノ改良發達ト云フモノハ、マダ幼稚デアリマシテ、大部分之ヲ木製ノ桶ニ貯藏シテ居リマシタ爲ニ、滓引貯藏減量ノ率ガ相當ノ度ニ上リマシタ次第デアリマス、併ナガラ其後ニ於キマシテ段々醸造ナリ、貯藏ノ技術ガ發達致シマシテ、最近ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ鐵製ノ琺瑯「タンク」ヲ以テ貯藏致シマス、且又之ヲ冷藏貯藏致シマス爲ニ、酒精分ノ發散、其他ガ減少致シマシテ、實績ニ徴シマスト清酒ノ滓引貯藏減量ハ百分ノ七以下ノ實績ヲ舉ゲテ居リヤウナ現狀デモアリマスノデ、此際ニ於キマシテ此滓引貯藏減量ノ率ヲ更ニ引上ゲルト云フ必要ハナイノデハアルマイカ、斯様ニ存ジテ居リマス

○田中委員 只今ノ琺瑯並ニ鐵製ノモノニ

依ッテノ貯藏ニ基ク滓引減少歩合ガ減量シテ來タカラ、引上ゲル要ハナイト云フ御考デアリマスルガ、全國ノ酒造家ガ全部ガ左様ナ容器ヲ今使ッテ居ルト云フ譯デハゴザイマセス、其容器ヲ使ッテ居リマスル者ハ、全國ノ酒造家中デ何分デアリマスルカ、恐ラク是ハ調査致シテ居リマスコトデアリマスカラ、各監督局ノ報告ニ依ッテアナタノ方デ御分リニナッテ居ルト思ヒマス、左様ナコトハ私ハナイト思ヒマス、ソレハ成程御説ノ如ク使ッテハ居リマス、私モ酒屋ニ生レテ酒ノ研究ヲシテ參リマシタ者デアリマシタガ、必ズ之ヲ貯藏致シマシタ場合ニ於テハ、相當濾過致シマスト、ソレノ方法ヲ講ジテ居ル譯デアリマス、私ハ決シテ政府ノ仰シヤルヤウナ、左様ナ點デ此滓引歩合デ満足スルト云フコトハ、酒造家ニ取ッテ決シテアナタノ仰シヤルヤウナ風デアリ得ルモノデハナイ、斯ウ思フノデアリマス、少クトモ現行ノ百分ノ七ハ之ヲ十ニマデ引上ゲテ、ソレデ私ハ飽和點ニ達スルノデハアルマイカト思フ、全國ノ酒造業者ノ全體ニ就イテ調査致シマシタ結果ニ依リマスナラバ、百分ノ十マデ引上ゲルト云フコトガ公平ナルヤリ方デハナイカト云フコトヲ特ニ申上ゲマス、若シ御説ノ如クニ、全國ノ酒

造家ガ容器ノ改造ヲ行ヒマシタ場合ニ於テハ、或ハ此率ヲ引下ゲテモ宜カラウト思ヒマス、是ハ意見ヲ異ニ致シテ居ル譯デアリマスガ、尙ホ調査ヲ願ヒマシテ、此滓引減少歩合ヲ十マデ引上ゲルト云フコトニ付テ御調査ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望申上ゲテ置キマス

先程庫出ノ石高ニ付テ承ッタノデアリマスガ、是ハ石井サンカラモ既ニ御質問ニナッタラウト思ヒマスカラ、餘リ重複スルコトヲ避ケマスガ、屢々問題ニナッテ居リマス所ノ酒造稅納期ノ改正問題デアリマスガ、是ハ庫出稅ニ致シテ戴キタイト云フコトニ付テハ、モウ既ニ御話ニナッテ居ルト思ヒマシタガ……

○武田委員長 田中君ニ一寸申上ゲマス、今ノ點ハ石井君カラ詳細ニ御質問ガアリマシタ、其御答辯モ亦速記録ニ就テ御覽ヲ願ヘレバ宜カラウト存ジマス、重複ノ點ハ一ツ御差控ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田中委員 小賣業ノ問題ニ付キマシテモ、先程私ガ入ッテ來タ時ニ御話ガ出デ居タト思ヒマスガ……

○武田委員長 詳細ニ御質問ガアリマシタ

○田中委員 ソレデアリマスレバ、ソレニ對スル答辯ヲ一ツ委員長カラ大體骨子ヲ承

リマスナラバ、私ハ是デ其實問ヲ差控ヘテ宜イト思ヒマス

○武田委員長 ソレハ速記録ニ就テ御覽ヲ願ッタ方ガ間違ガナイト思ヒマス、記憶違ヒガアルトイケマセヌカラ……

○田中委員 大體ヲ委員長カラ聽カシテ戴ケバ宜イト思ヒマス

○武田委員長 大體ノ御趣旨ハ、何レ此議會ガ濟ンデカラ稅制調査會ノ議ニ付シテ、明年ノ根本的稅制改革ノ際ニ能ク調査檢討ヲ致ス積リデアルカラト云フ、結論的ノ御答辯デアッタノデス

○田中委員 當局トシテハ熱意ノアル答辯デアリマセウカ、其程度ガドウモ私ハ……

○武田委員長 其測定ハ何トモ言ヘマセヌガ、併シ中村參與官ハ吾々ト共ニ稅制ノ改革ニ非常ニ熱意ヲ持ッテ居ラレルノデアリマスカラ、根本的ノ稅制ノ改革ノ際ニ十分ニ檢討シヨウト云フ御答辯デアリマシタノデ、私ハ相當熱意ヲ持ッテ居ラレルト信ジマス

○中村政府委員 一寸御答致シマス、稅制調査會ハ貴衆兩院カラモ委員ガ出デ居ラレルノデゴザイマスカラ、熱意ヲ疑ハレルヤウナコトハ斷ジテナイト、斯様ニ存ジテ居リマス

○田中委員 成ベクソレハ是非實現スルヤ
ウニ、石井サンノ御質問ノ庫出税ノ問題ト、
免許制度ノ二點ハ特ニ委員會デ案ヲ練上ゲ
ラレマシテ、通常議會ニ御提出アランコト
ヲ御願フ致シテ置キマシテ、是デ質問ヲ打
切ルコトニ致シマス

○武田委員長 是ニテ質疑ハ終了致シマシ
タ、直チニ討論ニ移リマス——別ニ御發言
モアリマセヌカラ、直チニ採決ニ移リマス、
本案ハ原案ノ通り決定スルニ御異議アリマ
セヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○武田委員長 御異議ナシト認メマス、仍
テ酒造組合法中改正法律案ハ原案通り可決
確定致シマシタ、是ニテ本會ヲ終リマス、連
日炎暑ノ際諸君ノ御辛勞ヲ感謝致シマス、
是ニテ散會致シマス

午前十一時十三分散會

昭和十二年八月五日印刷

昭和十二年八月六日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所